

歴史文化学専攻 博士課程後期

教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

ディプロマ・ポリシー達成のため、以下の講義科目、演習科目並びに特別研究を置き、学位論文を課す。括弧内はそれぞれのカリキュラム・ポリシーが対応するディプロマ・ポリシーを示す。

- CP1 日本史・東洋史・西洋史及び関連諸分野について高度な専門知識の修得、理解のための講義科目を置く。(DP1)
- CP2 自ら課題を発見し、解決のための方法を導きだし、思考力を培い、まとめあげていくための演習科目を置く。(DP1、DP2、DP3、DP4)
- CP3 日本史・東洋史・西洋史及び関連諸分野について、専門的な関心と意欲を高めるための専門科目を置く。(DP1、DP2、DP3)
- CP4 研究を公表するための専門的・実践的な研究能力の向上を目的とする科目として「特別研究」を置き、論文や発表のための表現やプレゼンテーション能力を高める指導を行う (DP1、DP2、DP3、DP4)
- CP5 自身の研究の集大成として、研究計画に基づいた個別指導のもと、本学学位規程に定められた基準の博士論文を課す。(DP1、DP2、DP3、DP4)